【学生告知用】

■トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム申請時のポイント

＜募集スケジュール（予定）＞　※正式な募集要項公開後、変更になる可能性があります。

10 月初旬：　正式な募集要項公開
10 月 20 日（予定）：留学計画書の提出（学生から国際交流センターへ）
10 月下旬：　留学計画書の提出（大学から文科省へ）
12 月頃：　書類選考結果発表
1 月中旬：面接選考
2 月中旬：合否発表
3 月中：　壮行会や事前研修（参加必須）
4 月～10 月：留学先へ出発
帰国後：　事後研修（参加必須）

＜募集予定人数＞

500 名程度（予定）

＜対象プログラム＞　※以下全ての条件を満たす必要があります。

A. 平成 27（2015）年 4 月～10 月末までに開始する留学プログラムであること
B. 受入機関（大学、企業、NGO など）があるプログラムであること
C. 28 日以上～2 年以内のプログラムであること

＜奨学金概要＞　※平成 26 年度実績の支給内容をお知らせします。平成 27 年度の詳細は未定です。

・渡航費援助（【平成 26 年度実績】一律 10 万円または 20 万円　※渡航地域により異なる）
・授業料援助（【平成 26 年度実績】上限 30 万円）
・月額奨学金（【平成 26 年度実績】12 万円～20 万円　※渡航地域により異なる）

＜留学計画のポイント＞

A. 自分で考え、自分で企画したプランを自分の言葉で伝えられること
※原則学生自身が留学先や内容を決定し手配などの連絡調整も行う必要があるが、
早めにクラスアドバイザー、ゼミの担当教員に相談するとよい

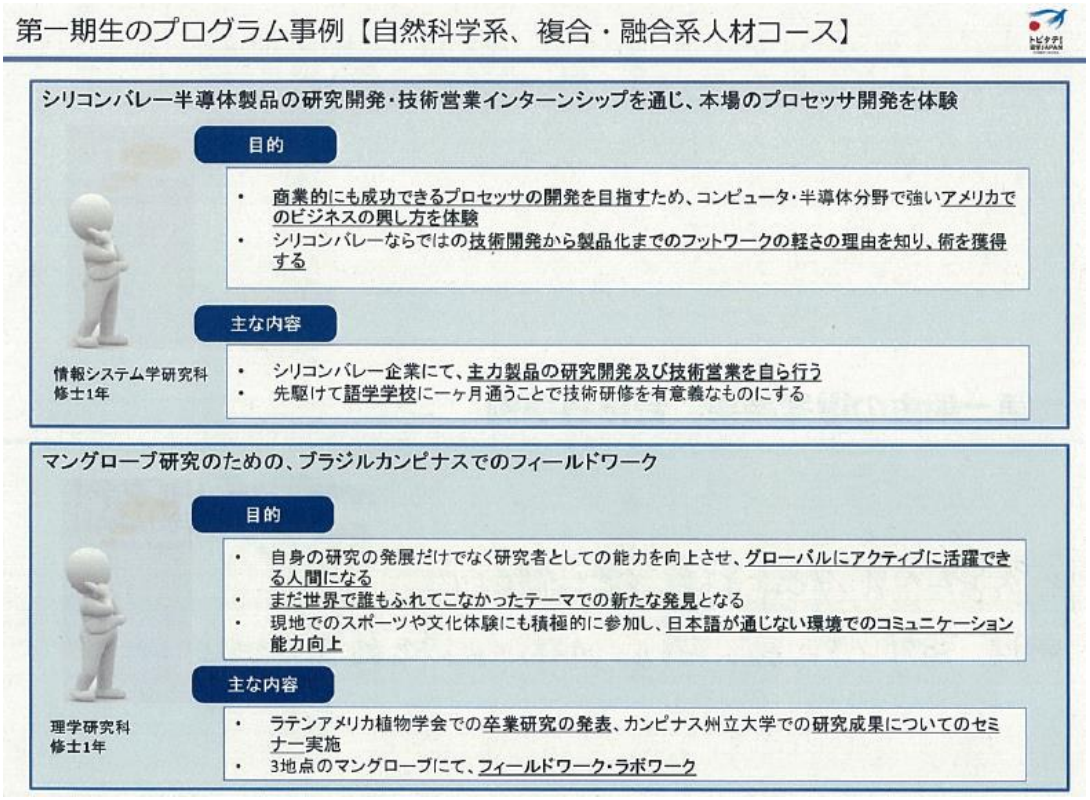
B. 単なる語学学習、海外大学での授業履修ではなく、インターンシップやフィールドワークなどの主体的かつ実践的な活動が盛り込まれていること
※大学の既存のプログラムに自分なりの取り組みや体験を付加することも可能
※諸条件を満たすプランであれば認定留学扱いとなり得るが、休学しての留学になる可能性もある

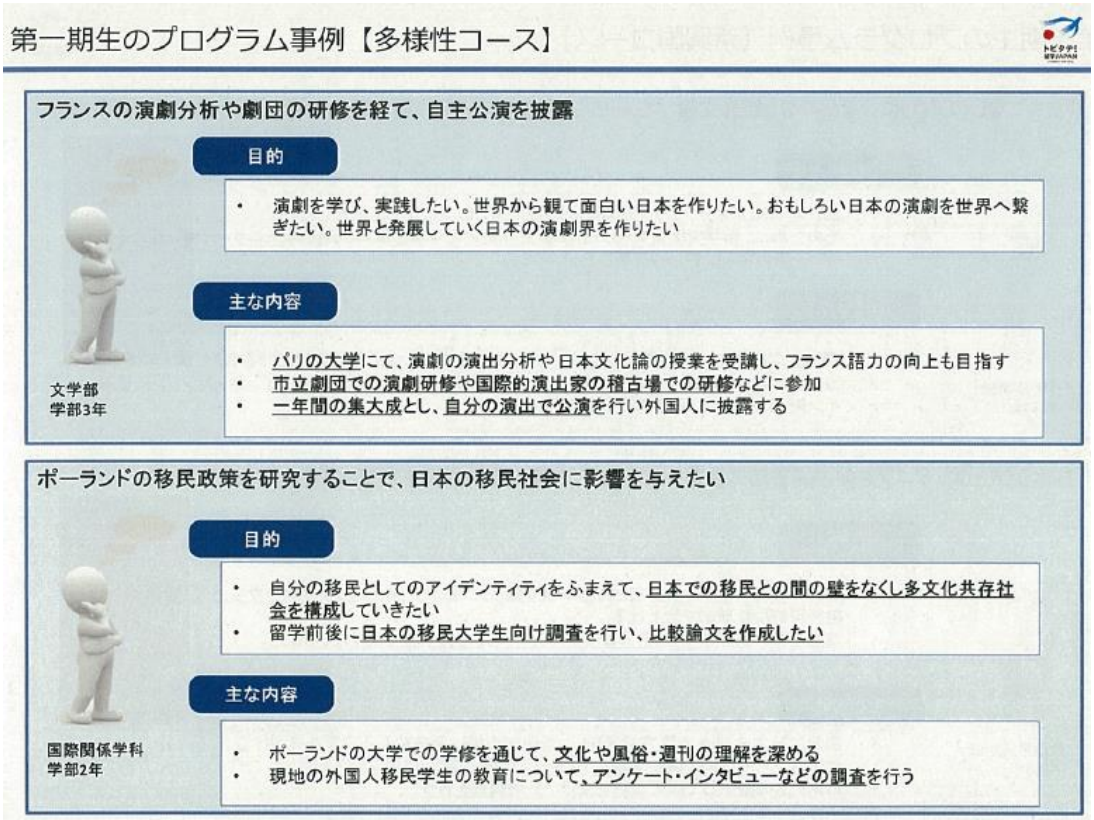
C. 留学の目的および目標が明確で、そこに合致する内容と手段であること
※留学すること自体が目的、あるいは留学を通じた異文化理解や交流だけでは NG

D. 留学経験を活かして、帰国後社会にどんな影響を与えたいかを考えていること

E. 応募時点でスケジュールが未定でも、いつ頃までにどんな準備が必要かを計画できていること

≪参考≫ 平成 26 年採用プラン事例

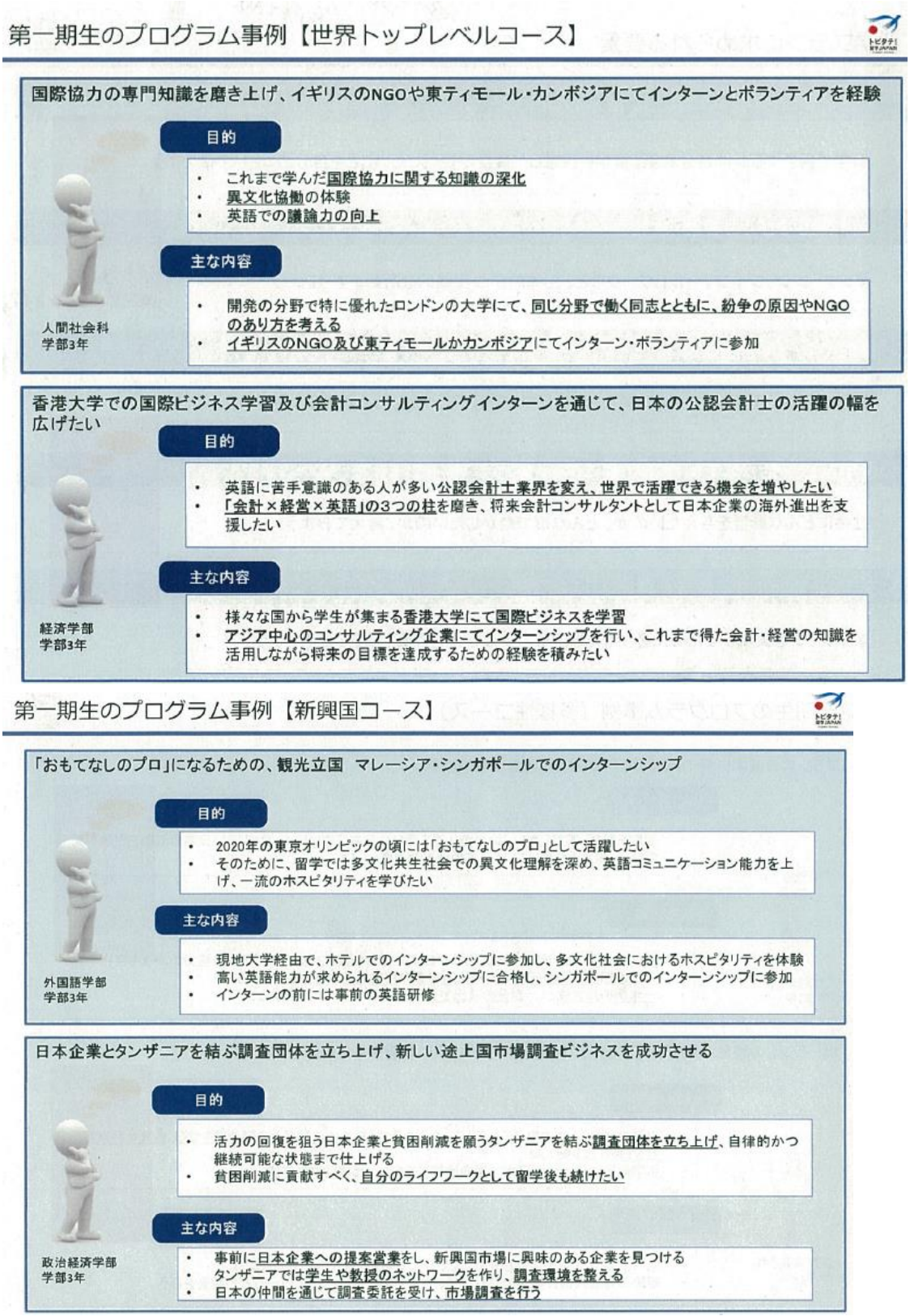




★平成 26 年度の本学合格者はこの「多様性人材コース」で採用

【学生告知用】

詳しくは CIE サイトのお知らせを参照：http://cie.swu.ac.jp/information/info-i/tobitate2014/



留学の目的は明確だが、それに合致した留学先確保についての質問や相談がある場合は、CIE または留学アドバイザーにメールでご連絡ください。

【留学アドバイザー】sa-abroad@swu.ac.jp

【学生告知用】

【国際交流センター（CIE)】ciestaff@swu.ac.jp